

MATSUMOTO

日 2 和

BI-YO RI



あのところも これからも まいにちが 宝もの

まつもと 和 2

監督:三好大輔 音楽:3日満月(権頭真由/佐藤公哉) 製作:まつもとフィルムコモンズ



映像提供 | 斉藤憲三郎 木内基裕 浅濑清 毛賀澤宏子 金井敬 樽沼剛 相馬和子 山下純也 山下あやこ 藤澤佐恵子 麻和正志 金井三和 倉島辰吉 中島洋一 山崎春男 丸山 博 前田紳一 三代澤昇 芳賀美好 山田富美雄 濱村登志行 向井ひなこ 石川明水 赤司龍之介 内藤速人 太田好子 武田裕子 北原正友 渡辺幸一 丸山修 高根正樹 平林重義 飯澤茂子 高山裕子 樋口信二 音楽協力 | 辻村豪文 アオイヤマダ 日乃出音楽堂 アンサンブルルミネ アルプス草笛会 信州大学ケルト音楽研究会S-Celts 松本深志高校吹奏楽部 協力 | 梓川小学校5年3組(令和5年度) 松本深志高等学校21回生 まつもとフィルムコモンズ | 代表 谷田俊太郎 篠塚彩乃 中村優香 小林美月 大口結司 一之瀬有咲 松浦茜里 川瀬那奈 吉田沙瑛 加藤蓮 清水梨沙子 前田紗季 島山涼音 尾上純玲 萩原和 加藤睦実 土井瑞樹 松本風乃 坂田和ノ介 斎藤千夏 後藤湧力 杉江夏実 鈴木陽太 高橋未弥 小林飛鳥 百瀬朝奈 菊地徹 高橋英紀 鴨下瑠美 百瀬朝奈 藤本京子 寛千絵 高嶋恵 小澤秀俊 井上公雄 保科宣紀 デザイン | 梅川茜 撮影/テレシネ | 中野智大 プロデューサー | 三好祐子 プロダクション | ALPS PICTURES INC.

支援 | 信州アーツカウンシル(一般財団法人長野県文化振興事業団) 令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



文化庁

8ミリだョ! 全員集合

まつもと日和2
完成上映2DAYS

2024
10/26 SAT — 27 SUN

会場：信毎メディアガーデン1階ホール

長野県松本市中央2-20-2

アクセス：松本駅から徒歩約8分 会場に専用駐車場はありません

主催：まつもとフィルム commons 特別協力：信毎メディアガーデン
後援：松本市 松本市教育委員会 松本商工会議所 FM長野
古道具協力：古道具燕



上映スケジュール

各回先着150名 開場は上映30分前 全席自由

10/26 土

① 10:00～12:00

まつもと日和2 & アフタートーク

トーク出演：三好大輔監督×8mmフィルム提供者

② 13:00～14:13

まつもと日和 (第1作アンコール上映)

③ 15:30～17:20

まつもと日和2 & 上映前ライブ

ライブ出演：3日満月、辻村豪文

投げ銭制
投げ銭のご用意を
お願いします

④ 18:30～20:20

まつもと日和2 & アフタートーク

トーク出演：三好大輔監督×まつもとフィルム commons メンバー

10/27 日

① 10:00～12:00

まつもと日和2 & アフタートーク

トーク出演：三好大輔監督×信濃毎日新聞論説顧問 丸山貢一

② 13:00～14:13

まつもと日和 (第1作アンコール上映)

③ 15:30～16:50

まつもと日和2

④ 18:00～19:20

まつもと日和2

⑤ 19:30～20:30

8ミリだョ! 全員集合座談会 チケット不要

信毎メディアガーデンが8ミリ横丁に!

横丁への出入りや体験はチケット不要です

『まつもと日和2』の音楽制作にも
参加してくれた2組による

ミニライブ

27日 14:30～14:50

信州大学ケルト音楽研究会
S-Celts

27日 17:00～17:30

日乃出音楽堂

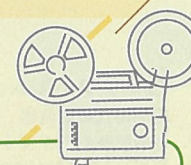
ポタンアコーディオン、バイオリンの
デュオ。ミューゼット、アイリッシュ音楽など。



『まつもと日和』が
できるまで



8ミリフィルムの募集から
地域映画の完成までの
制作過程を紹介しています。



8ミリフィルムの機材、
カメラや映写機を展示します。
実際に触ってみよう!

機材展示

8ミリフィルムに触れてみよう!
見てみよう!

ビューワー
体験

昭和な空間で
写真を撮ろう!



フォトブース

チェキでの撮影
(フィルム代別途)もできます。

フード&
ドリンク

ボヘミアン珈琲

自家焙煎珈琲

ヤマベボッサ

軽食、スイーツ

そればな

グルテンフリー菓子

山山食堂 ほか

軽食

※出店日時は店により異なります

フィルム型の用紙に綴られるメッ
セージが、知らない誰かの心にとま
り、新たな物語が生まれるかも。
映画の感想やあなたの思い出など、
自由に書いて飾ろう!

思い出&感想
コラージュ

地域映画を観て、知りくなったこ
と、よみがえった記憶...ああでもない
いこうでもない、なんでも好きな
こと、おしゃべりできる場所。

しゃべりば
井戸端空間

出演者プロフィール



三好大輔
映画監督

地域映画を生み出し全国にその活動を広げる。
ドキュメンタリー映画『目の見えない白鳥さん、
アートを見にいく』共同監督。松本在住。

出演 26日 ① トーク ④ トーク
27日 ① トーク ⑤ 座談会



丸山貢一
信濃毎日新聞論説顧問

1979年信濃毎日新聞社入社。1999年日本新聞協会賞受賞。
編集局報道部長、文化部長などを歴任し、2014年論説主幹。
1面コラム「斜面」などを執筆。現在は毎月第1日曜日にコラム
「この地から」を執筆。

出演 27日 ① トーク



3日満月

権頭真由、佐藤公哉による
音楽家デュオ

ピアノ、アコーディオン、ヴァイオリンなどで映画、
舞台の音楽を手掛ける。『まつもと日和』『まつもと
日和2』の音楽監修。

出演 26日 ③ ライブ

辻村豪文 (キセル)

ミュージシャン

兄弟ユニット、キセルの兄担当。歌、ギ
ター、ドラムなど。ソロ活動「The
Instant Obon」や弾き語りでも活動
中。『まつもと日和2』の音楽に参加

出演 26日 ③ ライブ

チケット

一般当日 1,500 円

一般前売 1,300 円 セット前売 2,500 円

学生 & 20歳以下無料

※学生 & 20歳以下のかたは、当日受付でチケットをお渡しします。
ご年齢のわかるものをお持ちください。

※セット券は2枚セットでの販売です。

上映を2回ご覧になっても、ペアでご利用いただいてもOKです。

信毎メディアガーデン (信濃毎日新聞松本本社 まちなか情報局)

電話: 0263-32-1150 (平日9:00～17:00)

前売り券 窓口販売 (現金決済のみ対応) ～10/25(金)

前売り券 ネット販売 (クレジットカード・PayPay決済対応)

信毎MGウェブショップ



お問合せ: durskt@icloud.com (まつもとフィルム commons 事務局)

8ミリフィルムを集めてつくった 松本の 地域映画が 帰ってきます!

MATSUMOTO
日2和
BI YO RI

2023年2月に公

開され、大反響を呼んだ
『まつもと日和』。

地域映画の最新作『まつもと日和2』は、前作を超える347本の8ミリフィルムを集め、松本の小学生から高校生、大学生、社会人まで、多くの市民が映画づくりに参加しました。

1978年に開催されたやまびこ国体をはじめ、50〜80年代のメーデー、松本ぼんぼん、松本城やアルプス公園、美ヶ原、上高地、そして昭和の結婚式や入学式、お花見、運動会、お祭り、田植えや稲刈り、まちのあちこちで遊ぶ子どもたち、翁堂のミミーや蒸気機関車なども登場します。

過去・現在・未来をつなぎ、松本で暮らす人々の歩みを見つめ直す地域映画の第2弾。市民のさまざまな切り取られた日常風景や懐かしい街並みが、このまちの新しい宝ものになります。

8ミリフィルムは、昭和時代の家庭用映像記録メディアです。撮影から数十年が経ち、再生が困難になってきています。



50年後 100年後の
未来につながる活動、
頑張ってください

山崎貴(映画監督)

地域社会の財産として
街を人を豊かに
繋いでゆくはずです

是枝裕和(映画監督)

現代において地域の記憶や記録と どのように向き合うことができるのか 大石始

『まつもと日和』を観た。最初に書いてしまうと、これが実に素晴らしい作品であった。

現代において地域の記憶や記録とどのように向き合うことができるのか。本作はそうした問いかけを投げかけている。

松本にかぎらず、分厚い市史に載っているのは歴代の市長や大企業の社長ばかりだし、語り継がれるのは有名な将軍の武勇伝や地元の名士の成功譚ばかりだ。でも、同時代に生きているのはそういった名前のある人たちばかりではない。何気ない街の風景を映した8ミリフィルムの映像は、名前のない人々の小さな物語が存在していたことの証でもある。

ただし、当時を知る人々だけでこうした古いフィルムを観ても、ノスタルジーたっぷりに昔を懐かしむだけで終わってしまうだろう。この映画では劇中、さまざまな世代がフィルムを共に鑑賞する場面が出てくる。子供や若者は現在とは異なる松本の風景に驚き、老人たちは懐かしむ。現代に生きる人々がそうやって語り合うことにより、地域の物語が繋ぎ直されていくのだ。

一度記録された地域の物語を編み直すことで、その可能性を開く。あるいは混沌とした記録と記憶の渦をエディットし、リミックスやリマスタリングを施すことで、複数の「小さな物語」をアーカイブする。『まつもと日和』がやっているのは、そういうことだと思う。

もちろん、東京の「リミキサー」に頼めばすぐにうまいことフィルムを繋ぎ、感動的なドキュメンタリー映画を仕立て上げてくれるだろう。でも、『まつもと日和』の場合はわざわざ幅広い世代の市民が参加し、模索しながらひとつの作品を作り上げていった。かつてこの地に生きた人々の物語を、現在ここに生きる人々が「自分たちの物語」として作り上げていくというプロセス自体にも重要な意味があるはずだ。

(noteの投稿「地域の物語と記憶をつなぐもの——地域映画『まつもと日和』を観て」より抜粋)

大石始:地域と風土をテーマとする文筆家。最新刊は『異界にふれる ニッポンの祭り紀行』。

まつもとフィルム commons

2023年『まつもと日和』製作。地域映画の上映や座談会を通して、地域コミュニティの再生を目指す市民団体。10代から80代まで、幅広い世代・所属のメンバーが活動しています。

「東京ドキュメンタリー映画祭 2023」選出
第14回地域再生大賞優秀賞



matsumoto8mm.com



長野県みらいベースにて行った「失われゆく8mmフィルムは地域の宝 映画『まつもと日和』第2作の実現へ」では、多くの皆様よりご寄付を賜りました。ご協力心より感謝申し上げます!

株式会社小石興業 | セキスイハイム信越株式会社 | 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 | ケントリフォーム株式会社 | 株式会社五幸 東洋計器株式会社 | 株式会社巴屋 | 有限会社柳原製作所 | 株式会社柳沢林業 | 医療法人 和心会 ほか238名の皆さま